

この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



白鷹町防犯協会 東根支部長
梅津 清さん（広野在住）
うめつ きよし

健康を第一に
人と人とのつながりを大事にしたい。



梅津さんは、これまで建設業一筋で65歳の定年まで働いてきました。「地図に載る建物を残すことができ充実感もありましたので、定年後は少しゆっくりしようと考えていました。しかし、さまざまな役職、仕事等の依頼がありまして、その中で、防犯協会の東根支部長がありました」と少し照れた様子で語る梅津さん。

令和6年は、白鷹簡易郵便局での強盗事件をはじめ、近隣市町でも地域を揺るがす事件が発生しました。「こんな小さな町で、まさか強盗事件が起こるなんて驚きました。事件の一報を聞いたときに真っ先に頭をよぎったのが『子どもたちの安全』です。当時は下校の時刻と重なる時でしたから、早急に特別警戒パトロールを実施しました。今後も、いつどんな時にこのような事件が起こるかわかりませんので、青パトによる防犯パトロール等を行い、安全・安心な社会を実現するために、地域の目としてさらに防犯活動に協力していきます」と力強く語ってくれました。

地域の皆さんとともに
防犯意識を高めます！



防犯協会以外にも、地元神社の総代や土地改良区総代、学校連絡協議会など多種多様の活動を行っている梅津さん。「最近では、過去のサッカー仲間から声をかけてもらい、りんごの収穫をお手伝いしています。『日本の紅をつくる町』のPRとして、地元のりんごを活用できないか、みんなで考えているんです。こうして、いろいろな人から声をかけてもらい、人とのつながりの大切さを実感しますね」と嬉しそうに語ると、「今後も、出会いを大切にしながら住みよい地域づくりのお手伝いをしたいと思います。ゆっくりするのは、もう少し先ですね」と笑みをこぼしました。